

セミナー 「品質・安全管理について」

自動車関連産業への参入やビジネス拡大の一環として
製造部門における品質と安全の基礎を学ぶセミナー



2020年11月5日、株式会社五洋電子で、トヨタ自動車東日本(株)の品質管理部に38年間勤務した経験を持つ上林プロジェクトマネージャー(PM)による「品質・安全管理セミナー」が開催された。セミナーは同社の全国品質月間活動の一環として実施し、本社・鶴沼台工場およびリモート参加の仙台工場の従業員あわせて70名以上が参加した。

上林PMは「品質は、単にモノの性能・出来映えだけで判断されるものではなく、お客様が、性能・価格・納期のうちの何を一番求めているかによって基準が変化する」と定義した上で、「1万件に1件の不具合があったときに、現場ではたったの0.01%だと片付けてしまうかもしれないが、その製品を手にしたお客様にとっては1/1であることを忘れてはいけない。



“品質はお客様が決めるもの”という考え方で、業務を遂行することが大切」と強調。具体的には現場でのミスを防ぐためには誰がやっても同じ品質を出せるような作業標準書を整理し、常に改善を繰り返すことが必要であり、様々な意見を発言しやすい職場環境を整備することも重要であると説いた。



また、「安全なくして生産なし。1件の重大災害の背景には300件の小さな不安がある。安全に強い職場こそが品質・生産にも強さを発揮できる職場である」と続けた。

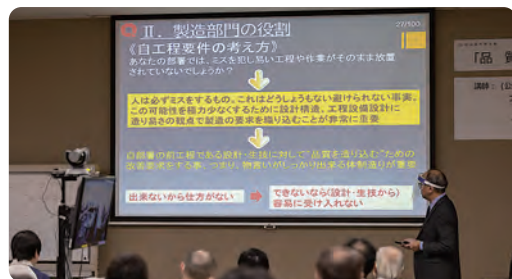
終了後は、仙台工場を含めた多くの参加者から熱心に質問が上がり、同社のものでづくりの現場での品質管理や安全面への関心の高さが伺えた。

参加者の声

今までの品質月間は、ポスター等による啓発が多く、このようなセミナー開催は初めてでした。現在、自身でも作業標準書の作成に取り組み始めたところで、今回のセミナーで、作成時に気をつけなければいけないポイントなど具体的な話を聞くことができ、“誰にでも伝わる作業標準書”作成の大切さを認識しました。今回学んだことを活かしながら、高品質かつ安全な職場づくりの一助となるよう、励みたいと思っています。



株式会社五洋電子
基板製造部 実装課
丸山 友博さん



仙台工場もリモートでセミナーに参加した